

# SHARP®

## インフォメーションディスプレイ

形名

# PN-T321

**取扱説明書**

**HDMI™**  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

**この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」(3ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

# もくじ

安全にお使いいただくために	3	基本的な操作	15
使用上のご注意	5	画像／音声ファイルの自動再生について (スライドショー)	17
付属品を確認する	7	各種設定メニュー	18
各部の名前	7	メニューの基本操作	18
設置のしかた	9	メニュー項目の詳細	19
設置時の注意事項	9	リスト画面について	20
機器の接続	10	コンピューター画面の調整について	21
コンピューターや AV 機器との接続	10	初期化・機能制限設定 (特別機能メニュー)	22
USB メモリーの接続	10	コンピューターで本機を制御する (RS-232C)	23
電源の接続	11	接続のしかた	23
ケーブル処理のしかた	12	通信仕様	23
USB メモリーカバーの付けかた	12	通信手順	23
リモコンの準備	13	RS-232C コマンド一覧表	25
電池を交換する	13	故障かな?と思ったら	27
リモコンで操作できる範囲	13	アフターサービスについて	28
電源の入/切	14	お客様ご相談窓口のご案内	29
主電源を入れる	14	主な仕様	30
電源を入れる/切る	14		
電源の入/切の操作を禁止する	14		

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

## 電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 情報技術装置の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。  
PC/AV HDMI 入力端子、PC D-sub 入力端子、RS-232C 入力端子、  
PC/AV DVI-D 入力端子、AV コンポーネント入力端子、AV ビデオ /AV 音声入力端子

## お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。  
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**図記号の意味** (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機の裏ぶたを外さない。改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。火災や感電の原因となります。本機の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



アースを接続する。アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。
















- ・アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- ・アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。



航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。

## ⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

-  **電源コードは、必ず付属のものを使用する。**  
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。
-  **電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。**
-  **電源コードは、タコ足配線しない。**  
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
-  **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。**  
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。
-  **火災や感電を防ぐために、次のことを守る。**
  - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
-  **直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。**  
発熱や発火の原因となることがあります。
-  **ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。**  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  **うつ伏せ、あお向け、逆さまにして使用しない。**  
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
-  **上にものを置いたり、上に乗ったりしない。**  
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
-  **風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。**  
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。
-  **液晶パネルを強く押ししたり、衝撃を与えたりしない。**  
液晶パネルに力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
-  **硬いものでこすったり、たたいたりしない。**  
破損してけがの原因となることがあります。
-  **移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。**  
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。  
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
-  **通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。**  
内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。  
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。)
-  **リチウム電池は幼児の手の届かないところに保管する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する。**
-  **リチウム電池の使用にあたっては、次のことを守る。**  
使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因にもなります。
  - プラス(+)とマイナス(-)の向きは、表示に従って正しく入れてください。
  - 消耗したときは、速やかに交換してください。
  - 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
  - 端子をショートさせないでください。
  - 水や火の中に入れたり、分解をしないでください。
  - 指定以外の電池を使用しないでください。
-  **電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。**  
皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。
-  **本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。**  
低温やけどの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## お手入れのしかた

必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

### ◆キャビネットの部分

- ・汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因となります。

### ◆液晶パネルの部分

- ・液晶パネルの表面は、柔らかい布（レンズクリーナーやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつかますのでご注意ください。
- ・液晶パネルにほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- ・液晶パネルの保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。

## 本機では、映像を回転させることはできません

- ・縦長で使用する場合は、縦長のコンテンツをあらかじめご用意ください。

## 電磁波妨害に注意してください

- ・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

## 周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲でご使用ください。

- ・別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

## 低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

## 直射日光・熱気は避けてください

- ・温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・キャビネットや部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

## 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- ・急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

## 長時間ご使用にならないとき

- ・長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 海外では使用できません

- ・本機を使用できるのは日本国内だけです。  
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

## 結露（つゆつき）について

- ・本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

## 使用が制限されている場所

- ・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

## LED バックライトについて

- ・本機に使用しているLEDバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

### 取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- 本書では、特に断りのない限り、横長で使用する場で説明しています。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader はアドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを搭載しています。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

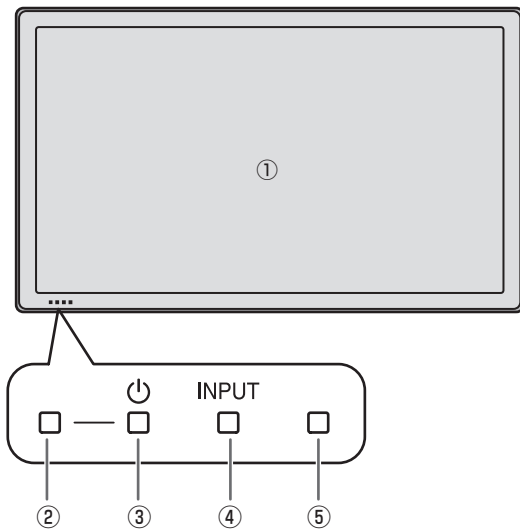
- 本体：1 台
- リモコン：1 個（電池装着済み）
- ケーブルクランプ：1 個
- 電源コード（約 4 m）：1 本
- 変換ケーブル（AV コンポーネント用）：1 本（緑／青／赤）
- 変換ケーブル（AV ビデオ用）：1 本（赤／白／黄）
- CD-ROM（ユーティリティディスク・Windows 用）：1 枚
- セットアップマニュアル：1 部
- 保証書：1 部
- 縦用シール（操作パネル）：1 枚
- 縦用シール（ロゴ）：1 枚
- USB メモリーカバー：1 個
- USB メモリーカバー用ネジ：1 個
- ブランクシール：1 枚

前面の SHARP ロゴを隠したいときは、上から貼ってください。

※ CD-ROM 内のユーティリティの著作権は、シャープ（株）が保有しています。許可なく複製しないでください。

## 各部の名前

### ■ 前面



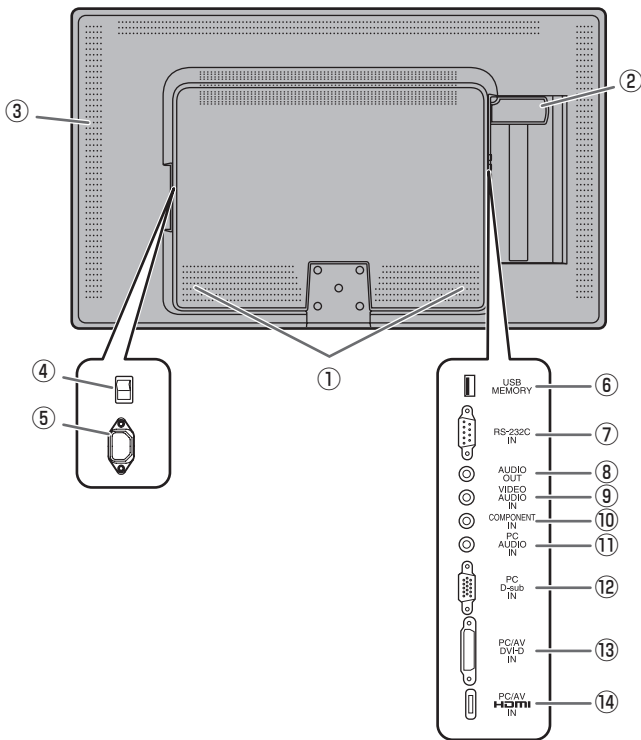
- ① 液晶パネル
- ② 電源ランプ（14 ページ）
- ③ POWER（電源）スイッチ（14 ページ）
- ④ INPUT（入力切換）スイッチ（15 ページ）
- ⑤ リモコン受光部（13 ページ）

#### ご参考

- 本機前面のスイッチは、ペン先などの先の細いもので操作してください。

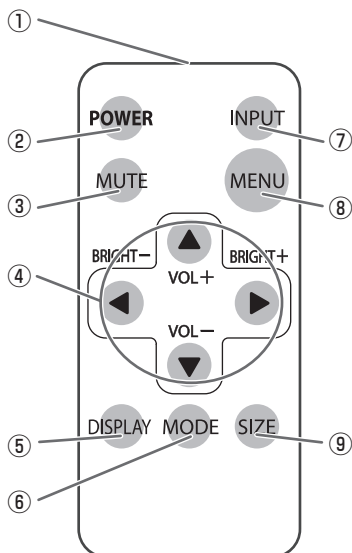
## 各部の名前

### ■ 後面



- ① スピーカー
- ② USB メモリーカバー
- ③ 通風孔
- ④ 主電源スイッチ (14 ページ)
- ⑤ 電源接続端子 (11 ページ)
- ⑥ USB 端子 (10 ページ)
- ⑦ RS-232C 入力端子 (10 ページ)
- ⑧ 音声出力端子 (10 ページ)
- ⑨ AV ビデオ /AV 音声入力端子 (10 ページ)
- ⑩ AV コンポーネント入力端子 (10 ページ)
- ⑪ PC 音声入力端子 (10 ページ)
- ⑫ PC D-sub 入力端子 (10 ページ)
- ⑬ PC/AV DVI-D 入力端子 (10 ページ)
- ⑭ PC/AV HDMI 入力端子 (10 ページ)

### ■ リモコン



- ① 発信部
- ② POWER(電源) ボタン (14 ページ)
- ③ MUTE(消音) ボタン (15 ページ)
- ④ VOL +/- (音量調整) ボタン (15 ページ)  
BRIGHT +/- (バックライト調整) ボタン (15 ページ)  
カーソル (▲/▼/◀/▶) ボタン
- ⑤ DISPLAY(状態表示) ボタン (15 ページ)
- ⑥ MODE(カラーモード切換) ボタン (15 ページ)
- ⑦ INPUT(入力切換) ボタン (15 ページ)
- ⑧ MENU(メニュー) ボタン (15 ページ)
- ⑨ SIZE(画面サイズ切換) ボタン (15 ページ)

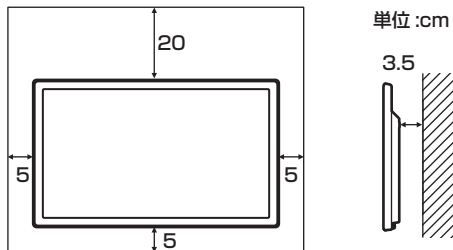


# 設置のしかた

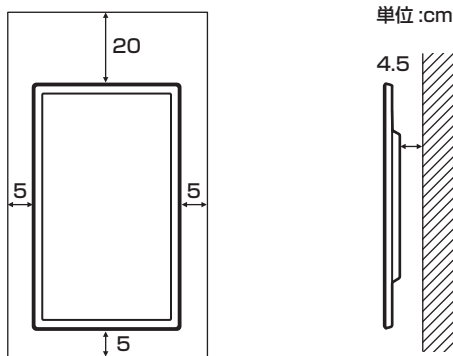
## 設置時の注意事項

- 本機は屋内用です。
- 設置や取り外し、移動の際はご購入の販売店にご相談ください。
- VESA 規格に準拠したスタンドや取り付け金具が必要です。後面の VESA ホール以外のネジ穴を設置に使わないでください。
- 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。
- 移動するときなどは、液晶パネルに手をかけないでください。破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 本機は水平面に対し垂直に設置してください。傾ける場合は、上向き / 下向き 20° までにしてください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機は周囲温度 0℃～40℃の範囲内でご使用ください。熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。

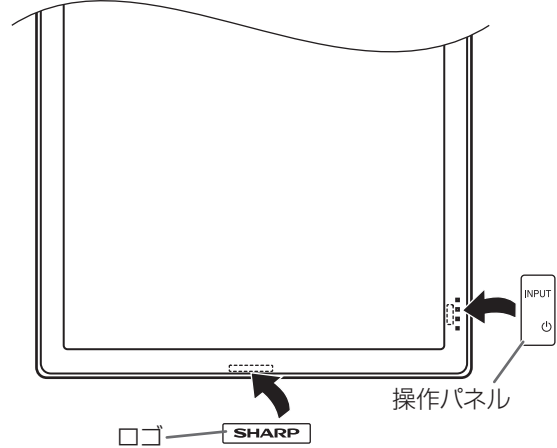
### 横長で使用する場合



### 縦長で使用する場合



- 縦長で使用する場合、付属の縦用シールを活用してください。



- リモコン受光部やスイッチをふさがないように貼ってください。

- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周囲温度が 0℃～40℃を超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 0℃～40℃になるよう対処してください。
- 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。
- 縦長で使用するときは、下記のことをお守りください。故障の原因となることがあります。
  - 電源ランプを下側に設置してください。
  - 背面の△印が上になるように設置してください。
  - 本体設定メニューの「温度センサー設定」を「縦」にしてください。  
(20 ページ)
- 通風孔をふさがらないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因となることがあります。
- 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。

# 機器の接続

## ！ご注意

- ・接続ケーブルの取り付け／取り外しは、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- ・接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。

## ご参考

- ・接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。
- ・「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示させたときや、そのコンピューターの設定を変更したあとは、画面の自動調整を行ってください。
- ・再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、本機の映像が音声から遅れる場合があります。再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とスピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。
- ・接続先のコンピューターにセットアップ情報をインストールする場合は付属の CD-ROM 内の Readme ファイルをお読みください。
- ・各入力モードで使用する音声は、下記の音声入力端子に接続してください。

入力モード	音声入力端子
D-SUB、 DVI-D	PC 音声入力端子
コンポーネント、 ビデオ	AV 音声入力端子
HDMI	PC/AV HDMI 入力端子、 または PC 音声入力端子※
USB	—

※ HDMI ケーブルで音声を入力しない場合。

## コンピューターや AV 機器との接続

### RS-232C 入力端子

- ・市販の RS-232C ストレートケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。

### 音声出力端子

- ・本機に入力された音声出力されます。
- ・市販の  $\phi$  3.5mm ミニステレオジャックまたは、 $\phi$  3.5mm ミニステレオジャックと RCA 変換ケーブルで接続します。
- ・出力される音声は、入力モードにより異なります。
- ・音量調整で音量が調整できます。
- ・機能切換メニューの「音声出力」で出力される音量を固定することができます。
- ・音声出力端子から出力される音声を、音声調整メニューで調整することはできません。

### AV ビデオ / AV 音声入力端子

- ・同梱の変換ケーブル（AV ビデオ用）を接続し、その先に市販のビデオ映像 / 音声ケーブル（RCA）を接続します。

### AV コンポーネント入力端子

- ・同梱の変換ケーブル（AV コンポーネント用）を接続し、その先に市販のコンポーネントケーブル（RCA）を接続します。

### PC 音声入力端子

- ・市販の音声ケーブル（ミニステレオジャック）で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。

### PC D-sub 入力端子

- ・市販の信号ケーブル（ミニ D-sub 15 ピン）で接続します。

### PC/AV DVI-D 入力端子

- ・市販の信号ケーブル（DVI-D 24 ピン）で接続します。

### PC/AV HDMI 入力端子

- ・市販の HDMI ケーブル（HDMI 規格認証品）で接続します。
- ・HDMI ケーブルで接続する場合、音声入力端子への接続は不要です。
- ・HDMI ケーブルで音声を入力しない場合、音声は PC 音声入力端子に接続してください。

## USB メモリーの接続

- ・USB メモリーを USB 端子に接続します。
- ・USB メモリー以外の USB 機器は接続できません。
- ・USB メモリーの接続・取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- ・USB 延長ケーブルは使わないでください。
- ・セキュリティ機能のある USB メモリーは使用しないでください。
- ・USB 端子に挿入可能な形状の USB メモリーをお使いください。特殊な形状の USB メモリーは挿入できない場合があります。
- ・端子下側の厚さが 3.6mm 以上の USB メモリーは接続できません。



# 電源の接続

## ！ご注意

- 電源コードは必ず付属のものを使用してください。



### アースを接続してください。

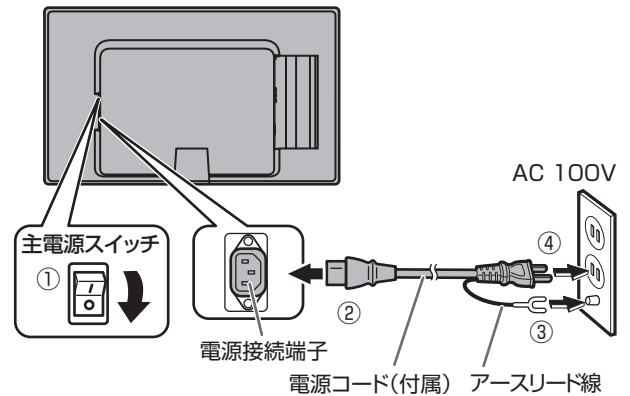
アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
  - アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
- また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する。

指定以外の電源を使用すると、火災の原因となる場合があります。

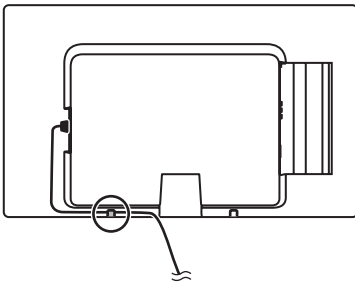
1. 主電源スイッチを「切」にする。
2. 電源コード（付属）を電源接続端子に差し込む。
3. アースリード線をアース線端子に接続する。
4. 電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込む。



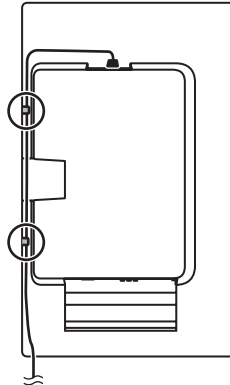
## ご参考

- 電源ケーブルは、本体下側（縦長設置時は左側）のツメに通してください。

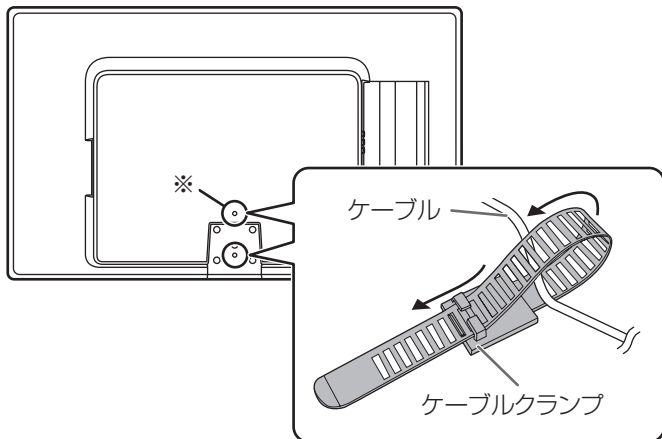
### 横長で使用する場合



### 縦長で使用する場合



# ケーブル処理のしかた



ディスプレイ後面に接続したケーブルは、ケーブルクランプで固定することができます。

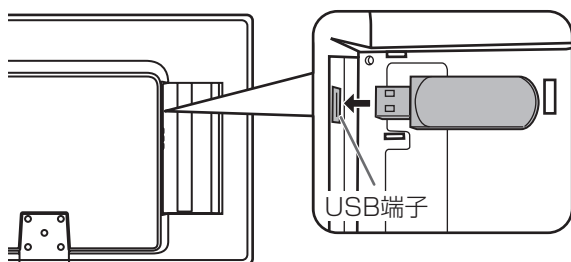
本体後面にケーブルクランプを付け、ケーブルを固定します。

## ご参考

- 別売品のテーブルスタンド (PN-ZS03) を使用する場合は、※の位置にケーブルクランプを付けてください。

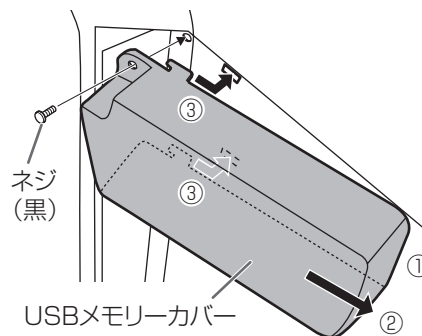
# USB メモリーカバーの付けかた

1. USB メモリーを USB 端子に挿入する。



2. USB メモリーカバーを付け、付属のネジで固定する。

①のツメを本体に差し込み、②の方向へ押しながら③のツメを本体に差し込みます。



## ご参考

- USB メモリーカバーを付ける場合は、長さ 80mm× 幅 25mm× 高さ 12mm 以内の USB メモリーをお使いください。
- USB メモリーカバーを外すときは、逆の手順で外してください。無理に力を加えるとツメが折れる場合があります。注意してください。

## !ご注意

- 黒色以外のネジは触らないでください。

# リモコンの準備

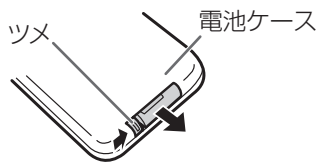
リモコンには、工場出荷時に電池と絶縁シートが装着されています。ご使用前に、必ず絶縁シートを外してください。



## 電池を交換する

### 1. 電池ケースを引き出す。

電池ケースのツメを押しながら引き出します。



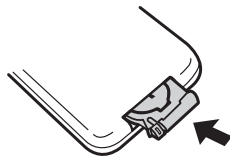
### 2. 電池をセットする。

プラス (+) とマイナス (-) の向きを確かめて、間違えないようにセットしてください。



### 3. 電池ケースをリモコンに差し込む。

カチッと音がするまで差し込んでください。

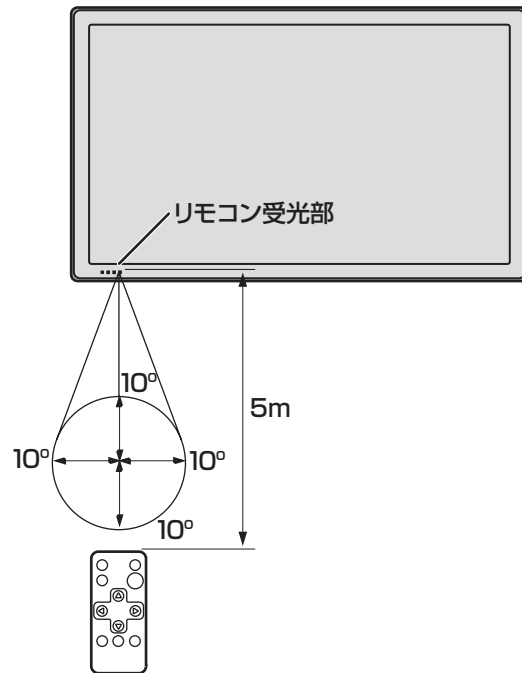


#### ご参考

- CR2025 以外の電池は使用しないでください。
- 出荷時リモコンにセットされている電池は、工場出荷時にセットしていますので、所定の使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。
- 電池が消耗したときは、早めに新しい電池（市販品）と交換してください。
- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。

## リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約 5m、上下左右に約 10° 以内です。



#### ご参考

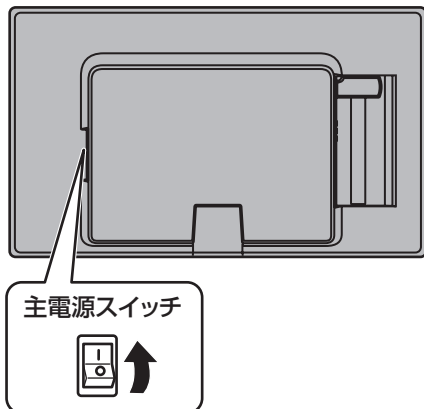
- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- リモコンをズボンのポケット等に入れたまま、座ったりしないでください。破損の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

# 電源の入／切

## ！ご注意

- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。

## 主電源を入れる

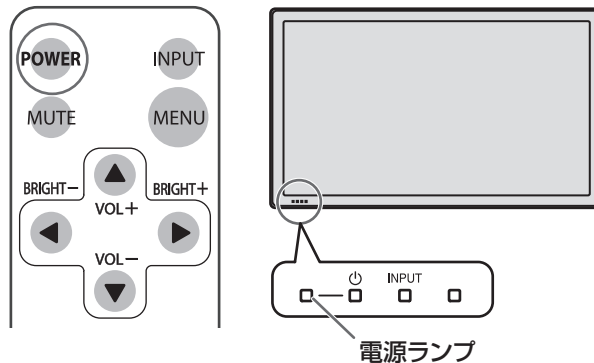


## ！ご注意

- 主電源の切／入は、主電源スイッチで行ってください。主電源「入」の状態での電源コードの抜き差しや、プレーカーの切／入などは行わないでください。
- 主電源の切／入は、必ず5秒以上の間隔を空けてください。

## 電源を入れる／切る

リモコンの POWER(電源) ボタンや本体の POWER(電源) スイッチを押すたびに、電源を入／切することができます。主電源が「切」の場合、POWER(電源) ボタンで電源を入れることはできません。



### • 電源ランプの状態

状態	本機の状態
緑色点灯	電源「入」
オレンジ色点灯	電源「切」(電源待機状態)
緑色点滅	入力信号待機状態 (DVI-D、D-SUB 時)

## ！ご注意

- 電源の切／入は、必ず約5秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

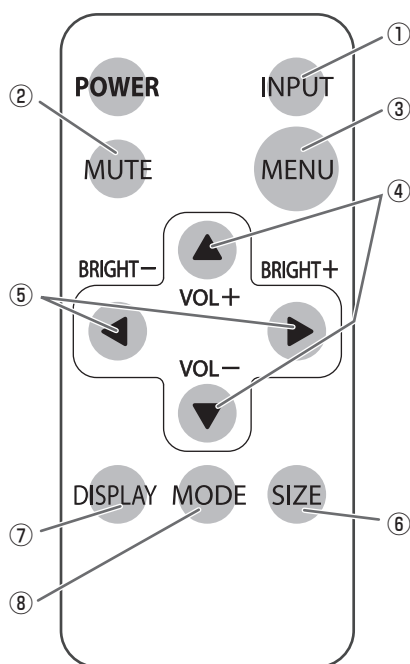
## ご参考

- 入力信号待機状態のときに POWER(電源) ボタンを押すと、電源待機状態になります。

## 電源の入／切の操作を禁止する

誤操作などで電源が切れないよう、電源の入／切の操作を禁止することができます。特別機能メニューの「調整ロック」を「2」に設定します。(22 ページ)

# 基本的な操作



## ① INPUT(入力切換)

メニューが表示されます。▲▼で入力モードを選び▶で決定します。

※ 本体のINPUT(入力切換)スイッチを押しても、入力端子を切り換えることができます。

入力モード	映像	音声
DVI-D	PC/AV DVI-D 入力端子	PC 音声入力端子
D-SUB	PC D-sub 入力端子	
HDMI	PC/AV HDMI 入力端子	※ 1
コンポーネント	AV コンポーネント入力端子	AV 音声入力端子
ビデオ	AV ビデオ入力端子	
USB ※ 2	USB 端子	—

※ 1 PC/AV HDMI 入力端子。HDMI ケーブルで音声を入力しない場合は、PC 音声入力端子。

※ 2 USB メモリー内の画像 / 音声ファイルを表示・再生することができます。詳しくは、20 ページをご覧ください。

## ② MUTE(消音)

音声を一時的に消します。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ③ MENU(メニュー表示)

メニューが表示されます。

メニューについては 19 ページを参照してください。

## ④ VOL + / - (音量調整)

メニューが表示されていないときに、▲や▼を押すと音量メニューが表示されます。



▲や▼で音量を調整します。

※ 音量メニューを表示したあと、約 4 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

## ⑤ BRIGHT + / - (バックライト調整)

メニューが表示されていないときに、◀や▶を押すと明るさメニューが表示されます。



◀や▶で明るさを調整します。

※ 明るさメニューを表示したあと、約 4 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

## ⑥ SIZE(画面サイズ切換)

メニューが表示されます。▲▼で画面サイズを選びます。(16 ページ)

※ 入力モードが「USB」のときは、画面サイズを変更することはできません。

※ 4 秒間何も操作しないと通常画面に戻ります。

## ⑦ DISPLAY(状態表示)

ディスプレイの情報を確認することができます。ボタンを押すと、表示は消えます。

※ 約 15 秒経過すると、表示は自動的に消えます。

## ⑧ MODE(カラーモード切換)

押すたびに以下の順でカラーモードを切り換えます。

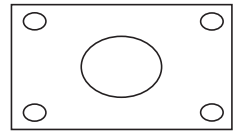
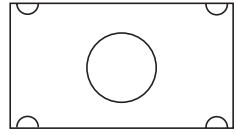
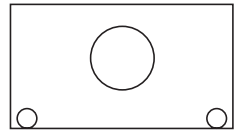
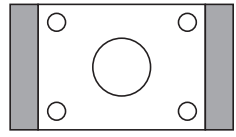
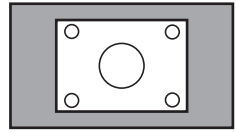
標準→あざやか→sRGB→標準…

- 「sRGB」は、入力モードが「DVI-D」、「D-SUB」のときのみ。sRGB とは、IEC (International Electrotechnical Commission) が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表現になります。

## 基本的な操作

### ■ 画面サイズ切替について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。

ワイド		画面いっぱいに映します。
ズーム 1		縦横比 4:3 の映像を縦横比を変えずに画面にすきまなく拡大します。映像の端が表示されないことがあります。
ズーム 2		ズーム 1 のサイズで字幕が切れる場合などにお使いください。
ノーマル		入力信号の縦横比を変えずに、画面いっぱいに映します。
Dot by Dot		入力信号の解像度どおりのパネル画像数で表示します。

#### ご参考

- 営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切替機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- オリジナル映像（外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像）の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、画面サイズ切替機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切替機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。



## 画像／音声ファイルの自動再生について（スライドショー）

入力モードを「USB」に設定し、USB 端子に USB メモリーを挿入すると、USB メモリーのルートフォルダーにある画像ファイルが自動的にスライドショーで表示されます。ルートフォルダーに音声ファイルがある場合、音声ファイルも自動的に再生されます。異なるフォルダーでスライドショーを行う場合は 20 ページをご覧ください。

### ご参考

- USB メモリーが挿入された状態で、USB 以外の入力端子から「USB」に切り換えたときも自動的に再生されます。
- USB メモリーで再生できるファイル形式は以下の通りです。

ファイルシステム	FAT16、FAT32
画像ファイル	jpg (jpeg)、png
音声ファイル	mp3 ビットレート：32k～320kbps サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz WMA ビットレート：32k～192kbps サンプリング周波数：32kHz、44.1kHz、48kHz (WMA9 には対応していません。)

- 上記ファイルでも再生できない場合があります。
- 容量や解像度の大きい画像は、再生に時間がかかる場合があります。また、再生できない場合があります。
- 画像ファイルにアプリケーション固有の情報が含まれている場合、正しく表示できない場合があります。
- 透過が設定されている png ファイルは、正しく表示されない場合があります。
- 日本語は正しく表示できない場合があります。フォルダー名やファイル名は、半角英数字を使用することをお勧めします。
- 「¥」は「\」で表示されます。
- スライドショーのフォルダーで扱えるファイルは、600 個までです。
- 長いファイル名・フォルダー名は、リスト画面にすべて表示されません。
- USB メモリーのルートフォルダーに画像ファイルがない場合、リスト画面（20 ページ）が表示されます。
- USB メモリーへのデータ転送やスライドショーの再生順の変更は、CD-ROM に収録の USB メモリーファイル書き込みツールを使用します。詳しくは、「USB メモリーファイル書き込みツール 取扱説明書」をご覧ください。
- スライドショー中は、リモコンやボタンの操作が反応しない場合があります。  
これは画像表示処理に負荷が掛かっているためで、故障ではありません。

# 各種設定メニュー

## メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、19～20ページをご覧ください。

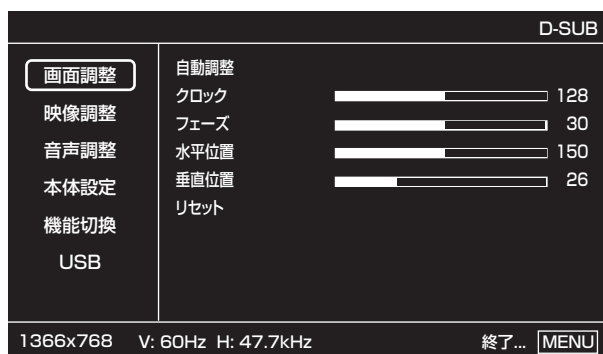
### ! ご注意

- メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

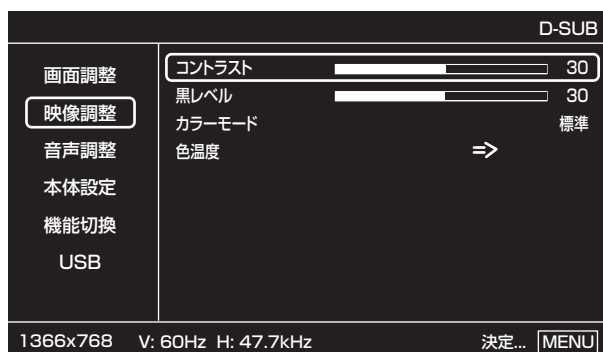
## ■ 操作例

(映像調整メニューの「コントラスト」を調整する。)

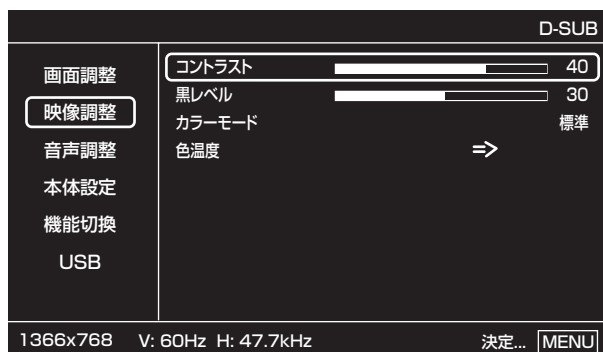
1. **MENU** を押し、メニュー画面を表示する。



2. **▲ ▼** で「映像調整」を選び、**▶** を押す。
3. **▲ ▼** で設定項目「コントラスト」を選択する。



4. **◀ ▶** で設定を調整する。



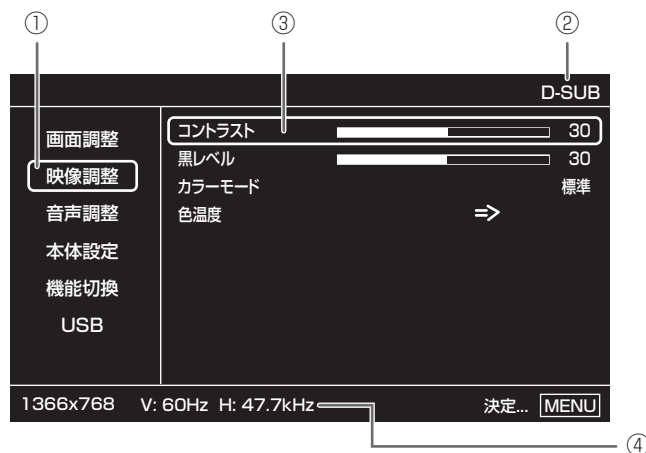
「**⇒**」のある項目は、**▶** を押したあと、設定を行い **MENU** を押します。

5. **MENU** を2回押し、メニュー画面を閉じる。

### ご参考

- メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。
- 約15秒間何も操作しないと、メニュー画面は自動的に閉じます。

## ■ メニューの見かた



- ① メニュー名
- ② 入力モード
- ③ 選択中の項目
- ④ 入力信号の画面解像度など（入力モードが「USB」のときは表示されません。）

### ご参考

- 選択できない項目（現在の入力信号で動作しない機能など）は灰色で表示されます。

## メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

### ■ 画面調整 (D-SUB 入力時)

#### 自動調整

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。

▶ を押しと実行されます。PC D-sub 入力端子を使ってコンピューターの画面を初めて表示させるときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、自動調整を行ってください。(21 ページ)

#### クロック

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。調整用パターン (21 ページ) を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

#### フェーズ

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。調整用パターン (21 ページ) を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。

※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあと行ってください。

#### 水平位置

映像の左右の位置を調整します。

#### 垂直位置

映像の上下の位置を調整します。

#### リセット

▶ を押しと、画面調整メニューの各項目を工場出荷時に戻します。

### ■ 映像調整

#### コントラスト

映像の明るさを調整します。

#### 黒レベル

映像信号の全体的な明るさを調整します。

#### 色あい (AV 信号入力時)

肌色を調整します。+方向で緑色に、-方向でマゼンタ色になる方向に色相を調整します。

#### 色の濃さ (AV 信号入力時)

色の濃さを調整します。

#### 画質 (AV 信号入力時)

画像のシャープさを調整します。

#### ノイズリダクション (AV 信号入力時)

映像に混在するノイズを低減します。

#### カラーモード

画面のカラーモードを切り換えます。リモコンで切り換えることもできます。(15 ページ)

※「sRGB」は入力モードが「DVI-D」、「D-SUB」のときのみ。詳細は 15 ページをご覧ください。

#### 色温度

「カラーモード」が「あざやか」か「標準」のとき、ホワイトバランスを選びます。

「色温度」で「ユーザー設定」を選択した場合、以下の調整をすることができます。

赤色コントラスト.....赤成分を調整します。

緑色コントラスト.....緑成分を調整します。

青色コントラスト.....青成分を調整します。

### ■ 音声調整

#### 高音

高音の音量を調整します。

#### 低音

低音の音量を調整します。

#### バランス

音声の左右のバランスを調整します。

## 各種設定メニュー

### ■ 本体設定

#### 温度センサー設定

温度センサーの向きを設定します。本機の設置方向（縦長 / 横長）を変えたときに設定してください。

#### 言語選択

メニュー画面の表示言語を設定します。

### ■ 機能切換

#### カラーシステム

AV ビデオ入力端子に接続されている AV 機器のビデオ信号方式（PAL/PAL-60/SECAM/NTSC3.58/NTSC4.43）を設定します。「自動」による自動判別が正しく動作しない場合は、適切なビデオ信号方式を指定してください。

#### 音声出力

音声出力端子から出力される音量について設定します。「可変 2」にすると、内蔵スピーカーからは音声は出力されません。

可変 1 ..... 音量調整で調整できます。

可変 2 ..... 音量調整で調整できます。

固定 ..... 固定します。

#### 入力解像度（D-SUB 入力時）

PC D-sub 入力端子に接続したコンピューターの解像度が以下の場合、解像度に合わせて選びます。

480 ライン ..... 自動、640x480、848x480

768 ライン ..... 自動、1024x768、1280x768、  
1360x768、1366x768

1050 ライン .... 1400x1050、1680x1050

### ■ USB

#### 切換効果

USB メモリー内の画像をスライドショーするときの、効果を選びます。

#### 表示間隔

スライドショーの間隔を設定します。

ただし、画像ファイルの形式やサイズにより表示の間隔が一定とならない場合があります。

#### リスト

リスト画面を表示します。

リスト画面では、スライドショーを行うフォルダーを変更することができます。

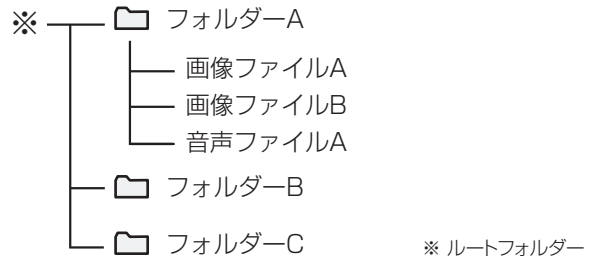
## リスト画面について

### ■ フォルダーを指定してスライドショーを行う

リスト画面では、フォルダーを指定してスライドショーを行うことができます。

音声を再生しながら、スライドショーを行う場合は、先に音声ファイルを選んでから画像ファイルを選んでください。

操作例：フォルダー A のデータをスライドショーする



リスト画面から操作を始めます。リスト画面が表示されていない場合は、USB メニューの「リスト」を選び、リスト画面を表示させてください。

1. ルートフォルダーにカーソルがある状態で、▲ ▼ を押し「フォルダー A」を選ぶ。

2. ▶ を押し「フォルダー A」を表示させる。  
一つ上の階層に戻る場合は、◀ を押します。

3. 音声ファイルを選ぶ。

音声を再生しない場合は、手順 4. へ進んでください。

① ▲ ▼ を押し、「音声ファイル A」を選ぶ。

② ▶ を押す。

・音声が再生されます。フォルダー内の音声ファイルが順次再生されます。

・再生を中止する場合は、◀ を押してください。

4. 画像ファイルを選ぶ。

① ▲ ▼ を押し、「画像ファイル A」を選ぶ。

・異なるフォルダーにある画像ファイルを選ぶこともできます。フォルダーを選び、▶ を押します。

一つ上の階層に戻る場合は、◀ を押します。

② ▶ を押す。

・スライドショーが始まります。フォルダー内の画像ファイルが順次表示されます。

#### ご参考

- ・ファイルが多い場合、画像ファイルと音声ファイルを別のフォルダーに登録すると便利です。
- ・WMA ファイルでは、「アルバム」、「年」の情報は表示されません。

## コンピューター画面の調整について

### ■ 自動調整

PC D-sub 入力端子を使ってコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。

1. 入力を「D-SUB」に切り換え、調整用パターンを表示する。  
(下記)
2. MENU を押し、▲ ▼ で画面調整メニューを表示する。
3. ▶ を押して、「自動調整」を選択する。
4. ▶ を押す。  
数秒後に自動調整が完了します。
5. MENU を 2 回押して、メニュー画面を閉じる。

#### ご参考

- ・ 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2～3 回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

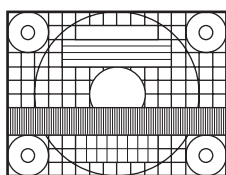
### ■ 調整時の画面表示

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、CD-ROM (付属) 内の調整用パターンを利用してください。

#### 調整用パターンの表示

Windows 7 を例に説明します。

1. CD-ROM (付属) をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「コンピュータ」の CD-ROM を開く。  
Windows XP のときは、「マイコンピュータ」の CD-ROM を開きます。
3. 「Monitor」フォルダーの「Adj\_uty.exe」をダブルクリックする。  
調整用パターンが表示されます。  
自動または手動による調整を行ってください。



4. 調整が終わったら、コンピューターの [Esc] キーを押す。  
調整用パターンが消えます。
5. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

#### ご参考

- ・ 使用するコンピューターの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

# 初期化・機能制限設定（特別機能メニュー）

設定を工場出荷時に戻したり、操作を制限することができます。

1. **SIZE** を約5秒間押したあと、▲▶▼◀の順に押す。



2. ▶を押す。  
3. 項目を選択して、設定を行う。

## オールリセット

▶を押すと、設定を工場出荷時の状態に戻します。  
初期化したあとは、主電源スイッチを入れ直してください。

## 調整ロック

本体やリモコンによるボタン操作を禁止することができます。

しない..... 操作可能

1..... 電源入/切と特別機能メニューの操作のみ可能。それ以外の操作はできません。

2..... 特別機能メニューの操作のみ可能。  
電源入/切も含め、特別機能メニュー以外の操作はできません。

## RS-232C

RS-232Cからの制御（23ページ）を許可するか、禁止するかを切り換えます。

## OSD表示

メニューなどの画面を表示する/表示しないを設定します。

ただし、特別機能メニュー画面は設定に関わらず表示されます。

## LED点灯

電源ランプを点灯させるか、させないかを切り換えます。

## 温度異常表示

温度異常時の通知方法を選びます。

しない..... 異常を通知しません。

OSD & LED... 温度異常時、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅し、画面に「モニター温度」のメッセージが表示されます。

LED..... 温度異常時、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。

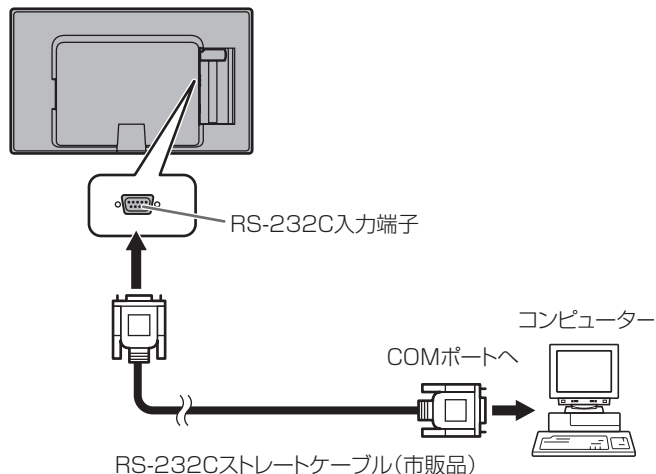
4. **MENU** を2回押して、通常画面に戻る。

# コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

コンピューターのRS-232C (COMポート) を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。

## 接続のしかた

コンピューターのCOMポート (RS-232Cコネクタ) と本機のRS-232C入力端子をRS-232Cケーブル (ストレート) で接続します。



## 通信仕様

コンピューター側のRS-232C通信仕様を次のように設定してください。

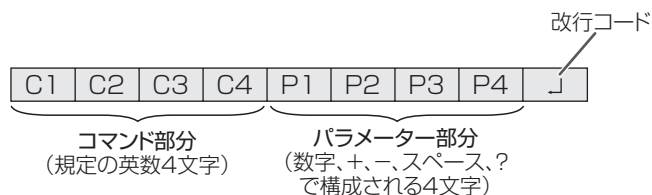
ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

## 通信手順

### ■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM0030  
VOLM□□30

- ※ パラメーター部分が4文字に足りない場合は、スペース (「□」) で4文字になるように調整してください。(「□」は改行コード (ODH, OAH または ODH))
- × VOLM30 □
- VOLM□□30 □

RS-232C コマンド一覧表 (25 ページ) の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]

VOLM ? ? ? ?	← コンピューターから本機へ (現在の音量設定値は?)
30	← 本機からコンピューターへ (設定値: 30)

## コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

### ■ レスポンス

#### コマンドが正しく実行された場合

OK J 改行コード  
(ODH, OAH)

コマンドの終了後、返信されます。

#### コマンドが実行できなかった場合

ERR J 改行コード  
(ODH, OAH)

#### ご参考

- ・該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- ・コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。

#### コマンドの実行に時間がかかっている場合

WAIT J 改行コード  
(ODH, OAH)

下記コマンドの場合、戻り値として「WAIT」が返ってきます。この場合、しばらく待つと戻り値が返ってきます。戻り値が返ってくるまでは、コマンドを送信しないでください。

- ・WAIT が返ってくるコマンド  
RSET、INPS、ASNC、WIDE、POWR コマンド

#### RS-232C による制御が禁止 (22 ページ) されている場合

LOCKED J 改行コード  
(ODH, OAH)

### ■ 通信間隔について

- ・必ず OK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。  
また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
- ・コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms 以上の間隔を空けてください。

```
VOLM0020
OK
      |
      | 100ms 以上空ける
      v
INPS0001
WAIT
OK
```

#### ご参考

- ・オールリセットするときは、タイムアウト時間を 30 秒以上に設定してください。



## RS-232C コマンド一覧表

### コマンド一覧表の見かた

- コマンド：                    コマンド部分 (23 ページ)  
 方向：                        W 「パラメーター」をパラメーター部分 (23 ページ) に設定して使用することにより、「制御／返信内容」に書かれたように機能します。  
                               R パラメーター部分 (23 ページ) に「????」または「□□□ ?」を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。  
 パラメーター：            パラメーター部分 (引数) (23 ページ)  
 返信：                        レスポンス (返り値)  
 電源待機状態で使える： ○ 電源待機状態でも使えるコマンド  
                               － 電源待機状態で使えないコマンド

### 電源制御／入力切換

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行	○
			1		電源待機状態から復帰	
		R		0	電源待機状態	
				1	通常動作状態	
				2	信号入力待機状態	
入力切換	INPS	W	0		トグルで入力切換	○
			1		DVI-D	
			2		D-SUB	
			3		コンポーネント	
			4		ビデオ	
			9		HDMI	
			11		USB	
		R		1	DVI-D	
				2	D-SUB	
				3	コンポーネント	
				4	ビデオ	
				9	HDMI	
				11	USB	

### 画面調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
自動調整	ASNC	W	1		D-SUB のみ	－

### 映像調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
カラーモード	BMOD	WR	0	0	標準	－
			2	2	あざやか	
			3	3	sRGB (DVI-D、D-SUB 入力時のみ)	

### 本体設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
温度センサー設定	STDR	WR	0	0	横	－
			1	1	縦	

### 特別機能 (初期化・機能制限設定) メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
オールリセット	RSET	W	0		すべて初期化	－
調整ロック	ALCK	WR	0～2	0～2	0：しない	

## コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

### その他

機能		コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	電源待機状態で使える
画面サイズ (DVI-D、D-SUB)		WIDE	WR	1 ~ 5	1 ~ 5	1 : ワイド、2 : ノーマル、3 : Dot by Dot、4 : ズーム 1、5 : ズーム 2	-
画面サイズ (HDMI、コンポーネント、ビデオ)		WIDE	WR	1 ~ 5	1 ~ 5	1 : ワイド、2 : ズーム 1、3 : ズーム 2、4 : ノーマル、5 : Dot by Dot	
音量調整		VOLM	WR	0 ~ 31	0 ~ 31		
消音		MUTE	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0 : しない、1 : する	
製品情報	型名	INF1	R		値		○
	製造番号	SRNO	R		値		
明るさ		VLMP	WR	0 ~ 31	0 ~ 31		-
温度異常監視		DSTA	R		0	内部温度正常	○
					1	内部温度異常 (電源待機状態)	
					2	内部温度異常 (現在は正常だが、使用中に温度異常が発生)	
					3	内部温度異常 (バックライト輝度低下状態)	
温度取得		ERRT	R		値	温度センサーの温度を、下記の形式で返信する。 [センサー 1]、[センサー 2]、[センサー 3] 本機にはセンサー 2、3 はありません。すべてセンサー 1 と同じ値が返信されます。 返信が「126」のときは、温度センサー異常。	-
					0	内容初期化	
					1	初期化以降電源待機状態無し	
					2	電源ボタンで電源待機状態	
最後の電源待機状態理由		STCA	W	0	3	主電源スイッチで主電源「切」	○
					4	RS-232C 電源待機状態	
					5	無信号で入力信号待機状態	
					6	温度異常で電源待機状態	

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

アフターサービスについては 28 ページをご覧ください。

## 映像も音声も出ない

- 電源コードは正しく接続されていますか。(11 ページ)
- 主電源スイッチが「切」になっていませんか。(14 ページ)
- 電源待機状態になっていませんか(電源ランプがオレンジ色に点灯)。(14 ページ)
- 入力切替は正しく選択されていますか。(15 ページ)
- 外部機器を接続している場合、機器側が動作(再生)状態になっていませんか。

## リモコンが動作しない

- 電池の極性(+、-)が逆になっていませんか。(13 ページ)
- リモコンの電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(13 ページ)
- メニュー表示を非表示にしたり、操作を禁止していませんか。(22 ページ)

## 音が左右逆になる

### 片方しか音が出ない

- 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。(10 ページ)
- 音声調整メニューの「バランス」の設定を確認してください。(19 ページ)

## 音が出ない

- 消音になっていませんか。
- 音量調整が最小になっていませんか。
- 音声ケーブル(市販品)は接続されていますか。
- 映像信号が入力されていないとき、音声は出力されません。

## 映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。
- PC D-sub 入力端子を使っている場合、画面の自動調整を行ってみてください。

## PC/AV HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない

- HDMI ケーブルは HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(32 ~ 33 ページ)

## PC/AV DVI-D 入力端子の映像が正しく表示できない

- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(32 ~ 33 ページ)
- 接続機器の電源を入れ直してください。

## AV コンポーネント入力端子の映像が正しく表示できない



- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(33 ページ)

## 操作ボタンが効かない

### 画面に何も映らない

- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の主電源を入れ直し、動作を確認してください。

## 「自動低減中」と表示されている

- 本体の内部温度が高温になり、温度上昇を防止するため、バックライトの輝度が自動的にさがります。この場合、  で明るさを調整しても「自動低減中」と表示され、明るさを変えることはできません。
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。

## ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

## 電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅している

### 画面の隅に「モニター温度」と表示されている

- 温度異常を防止するため、本体の内部温度が高温になると、バックライトの輝度が自動的にさがります。その場合画面には、「モニター温度」と表示され、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。(「温度異常表示」が「OSD & LED」のとき。設定により異なります。)
- さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態になります。(電源ランプは赤色と緑色の交互に点滅します。)
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
  - 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(9 ページ)
  - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
  - 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

# アフターサービスについて

## ■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLEDバックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理・交換の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

## ■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（27ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（29ページ）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

### ご連絡していただきたい内容

- ・品名：インフォメーションディスプレイ
- ・形名：PN-T321  
（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

### 保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（29ページ）にお問い合わせください。

# お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。  
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようおかけください。



<シャープサポートページ>  
<http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/>



**使いかたのご相談など** 使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社

国内営業統轄 ディスプレイシステム営業推進センター	03-3260-8333	〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8番地
ビジネスソリューション事業推進本部	0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

**受付時間**

月曜～金曜：9:00～17:00  
(土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



**修理のご相談など**

【修理ご相談窓口】(沖縄地区を除く)

シャープドキュメントシステム株式会社



**0570-00-5008** (●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。)  
(●携帯電話からもご利用いただけます。)

**受付時間** 月曜～土曜：9:00～17:40 (日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866  
(月曜～金曜：9:00～17:30)  
(土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)



持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

北海道 札幌技術センター (011)641-0751 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17 函館出張所 (0138)52-5190 〒040-0001 函館市五稜郭町31-17 帯広出張所 (0155)21-2881 〒080-0011 帯広市西1条南16丁目11番 旭川技術センター (0166)22-8284 〒070-0031 旭川市一条通4左10	長野 松本技術センター (0263)85-4118 〒399-0031 松本市芳川小屋84-1 長野出張所 (026)293-6360 〒388-8014 長野市篠ノ井崎崎東田沢6877-1	島根 松江技術センター (0852)21-6110 〒690-0017 松江市西津田3-1-10
青森 青森技術センター (017)738-7778 〒030-0121 青森市妙見3-3-4 八戸出張所 (0178)45-2631 〒031-0802 八戸市小中野2-8-16	石川 金沢技術センター (076)249-9033 〒921-8801 石川郡野々市町御経塚4-103	鳥取 鳥取出張所 (0857)28-4222 〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1
岩手 岩手技術センター (019)638-6085 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1	富山 富山出張所 (076)451-3933 〒930-0997 富山市新庄北町5-63	岡山 岡山技術センター (086)292-5830 〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828
秋田 秋田技術センター (018)865-1258 〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56	福井 福井出張所 (0776)53-6050 〒918-8206 福井市北四ツ居町625	広島 広島技術センター (082)874-6100 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
宮城 仙台技術センター (022)288-9161 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27	岐阜 岐阜技術センター (058)274-7996 〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9	福山 福山技術センター (084)952-0736 〒720-0837 福山市瀬戸町地頭分5-5
福島 福島技術センター (024)959-1421 〒963-0547 郡山市喜久田町卸3-27-2	静岡 静岡技術センター (054)344-5621 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	山口 山口技術センター (083)972-4525 〒754-0024 山口市小郡若草町4-12
新潟 新潟技術センター (025)284-6023 〒950-0965 新潟市中央区新光町9番2	愛知 名古屋1技術センター (052)332-2758 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	香川 高松技術センター (087)823-4980 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
長岡出張所 (0258)23-1850 〒940-1104 長岡市埴田屋町字崩2600	滋賀 沼津出張所 (055)924-1028 〒410-0062 沼津市宮前町11-4	徳島 徳島出張所 (088)625-8840 〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14
栃木 宇都宮技術センター (028)634-0256 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	浜松出張所 (053)423-1660 〒435-0051 浜松市東区市野町2565-1	高知 高知技術センター (088)883-7039 〒781-8104 高知市高須1-14-43
群馬 前橋技術センター (027)252-7311 〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7	愛知 名古屋2技術センター (075)681-9551 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48	愛媛 松山技術センター (089)973-0121 〒791-8036 松山市高岡町178-1
茨城 水戸技術センター (029)243-0909 〒310-0851 水戸市千波町1963	豊橋出張所 (0532)54-1830 〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1	福岡 福岡技術センター (092)572-2617 〒812-0881 福岡市博多区井植田2-12-1
埼玉 埼玉技術センター (048)666-7148 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2	岡崎出張所 (0564)33-7178 〒444-0904 岡崎市西大友町字穴穴90-1	南福岡出張所 (0942)45-4551 〒839-0812 久留米市山川安原野3-12-47
東京 東京フィールドサポートセンター ビジネスシステム技術部 東京第1技術センター (03)3624-7476 〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3	三重 三重技術センター (059)231-1573 〒514-0131 津市あつたつ4-6-4	北九州技術センター (093)592-6510 〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12
西東京技術センター (042)548-1931 〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-10-17	奈良 奈良技術センター (0743)53-2023 〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492	大分 大分出張所 (097)552-2164 〒870-0913 大分市松原町3-5-3
山梨 山梨出張所 (055)228-3833 〒400-0049 甲府市富竹2-1-17	京都 京都技術センター (075)681-9551 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48	長崎 長崎技術センター (0957)53-3858 〒856-0817 大村市古賀島町613-3
神奈川 横浜技術センター (045)753-9540 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23	大阪 大阪フィールドサポートセンター (06)6794-9671 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19	熊本 熊本技術センター (096)237-5355 〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227-78
千葉 千葉技術センター (043)299-8855 〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2	北大阪出張所 (072)634-4683 〒567-0831 茨木市鮎川5-15-3	鹿児島 鹿児島技術センター (099)259-0628 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1
	堺技術センター (072)221-0451 〒590-0048 堺市堺区一条通16-8	宮崎 宮崎技術センター (0985)28-8371 〒880-0851 宮崎市港東1-3-2
	和歌山 和歌山出張所 (073)445-6298 〒641-0031 和歌山市西小二里2-4-91	
	兵庫 神戸技術センター (078)795-6336 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-15-2	
	阪神出張所 (06)6421-2304 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10	
	姫路出張所 (079)266-8295 〒671-2222 姫路市青山5-7-7	

沖縄シャープ電機株式会社 <受付時間>月曜～金曜：9:00～17:30 (土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)  
沖縄 沖縄シャープ電機(株) (098)861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2011.4)

# 主な仕様

## ■ 製品仕様

形名	PN-T321	
液晶表示素子	32V型ワイド(対角80cm) TFT液晶	
最大解像度	1366×768	
最大表示色	約1677万色	
画素ピッチ	水平0.511mm×垂直0.511mm	
最大輝度(標準値)	420cd/m <sup>2</sup> ※1	
コントラスト比(標準値)	2500:1	
視野角	左右176°/上下176°(コントラスト比≥10)	
表示画面サイズ	横697.7mm×縦392.3mm	
映像入力信号	デジタルDVI規格1.0準拠、アナログRGB(0.7Vp-p) [75Ω]	
同期入力信号	水平/垂直セパレート(TTL:正/負)、シンク・オン・グリーン、 コンポジット・シンク(TTL:正/負)	
ビデオ信号方式	NTSC(3.58MHz)、NTSC(4.43MHz)、PAL、PAL-60、SECAM	
プラグ&プレイ	VESA DDC2B対応	
パワー・マネージメント	VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠	
入力端子	デジタル	HDMI(1系統)
		DVI-D24ピン(HDCP対応)(1系統)
	アナログ	ミニD-sub15ピン(3列)(1系統)
	ビデオ映像	RCAピン(1系統)※2
	コンポーネント映像	RCAピン(Y, Cb/Pb, Cr/Pr)(1系統)※3
	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)
		RCAピン(L/R)(1系統)※2
シリアル(RS-232C)	D-sub9ピン(1系統)	
USBメモリー	1系統(スライドショー用)	
出力端子	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)
スピーカー出力	8W+8W	
電源	AC100V 50/60Hz	
使用温度条件※4	0~40℃	
使用湿度条件	20~80%(結露なきこと)	
消費電力(入力信号待機時/電源待機時)	82W(0.9W※5/0.9W)	
外形寸法(突起部を除く)	幅約769mm×奥行約49.1mm×高さ約461mm	
質量	約7.8kg	
梱包時寸法/質量	幅約884mm×奥行約170mm×高さ約578mm/約10kg	

※1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※2 同梱の変換ケーブル(AVビデオ用)を使用します。

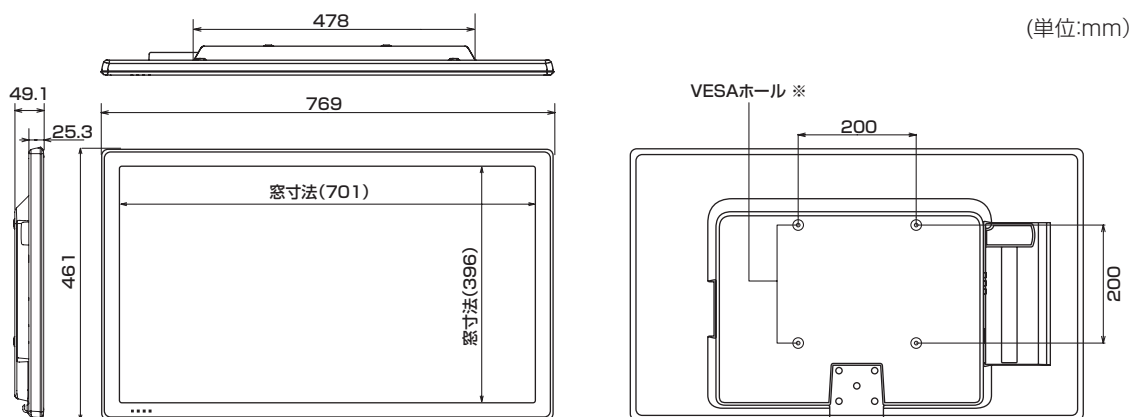
※3 同梱の変換ケーブル(AVコンポーネント用)を使用します。

※4 別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。

※5 D-SUB入力時(出荷時設定)。

■ 寸法図

数値はおよその値です。



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さを取り付け金具の厚さ +8 ~ 10mm のものを使用してください。

■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル		アナログ
					DVI-D	HDMI	
VESA	640×480	31.5	60	25.175	○	○	○
		37.9	72	31.5	○	○	○
		37.5	75	31.5	○	○	○
	800×600	35.1	56	36.0	—	—	○
		37.9	60	40.0	○	○	○
		48.1	72	50.0	○	○	○
		46.9	75	49.5	○	○	○
	848×480	31.0	60	33.75	○	—	○
	1024×768	48.4	60	65.0	○	○	○
		56.5	70	75.0	○	○	○
		60.0	75	78.75	○	○	○
	1152×864 <sup>*1</sup>	67.5	75	108.0	○	○	○
	1280×768	47.8	60	79.5	○	—	○
		60.3	75	102.25	○	—	○
	1280×800 <sup>*1</sup>	49.7	60	83.5	○	○	○
	1280×960 <sup>*1</sup>	60.0	60	108.0	○	○	○
	1280×1024 <sup>*1</sup>	64.0	60	108.0	○	○	○
		80.0	75	135.0	○	○	○
	1360×768	47.7	60	85.5	○	○	○
1400×1050 <sup>*1</sup>	65.3	60	121.75	○	○	○	
1440×900 <sup>*1</sup>	55.9	60	106.5	○	—	○	
1600×1200 <sup>*1</sup>	75.0	60	162.0	○	○	○	
1680×1050 <sup>*1</sup>	65.3	60	146.25	○	○	○	
ワイド	1280×720	44.7	60	74.4	○ <sup>*2</sup>	○ <sup>*2</sup>	○
	1366×768	47.7	60	85.383	○	○	○
	1920×1080 <sup>*1</sup>	66.3	60	148.5	○	○	○
		67.5	60	148.5	○ <sup>*3</sup>	○ <sup>*3</sup>	○
US TEXT	720×400	31.5	70	28.3	○	○	○
Sun	1024×768	48.3	60	64.13	—	—	○
		53.6	66	70.4	—	—	○
		56.6	70	74.25	—	—	○
	1152×900 <sup>*1</sup>	61.8	66	94.88	—	—	○
		71.8	76.2	108.23	—	—	○
	1280×1024 <sup>*1</sup>	71.7	67.2	117.01	—	—	○
		81.1	76	134.99	—	—	○
1600×1000 <sup>*1</sup>	68.6	66	135.76	—	—	○	

※1 Dot by Dot以外では縮小して表示し、Dot by Dotではパネルサイズで切り取って表示します。

※2 AV信号(1280×720p)として表示します。

※3 AV信号(1920×1080p)として表示します。

※ すべてノンインターレースのみの対応です。

※ 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

※ Sun の各周波数は参考値です。



## ■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数(Hz)	DVI-D	HDMI	コンポーネント
1920×1080p**	24	—	○	—
	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
1920×1080i**	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
1280×720p	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
720×576p	50	○	○	○
720×480p	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
720(1440)×576i	50	—	○	○
720(1440)×480i	59.94	—	○	○
	60	—	○	○

※ Dot by Dot以外では縮小して表示し、Dot by Dotではパネルサイズで切り取って表示します。

## ■ パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM に準拠しています。パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピューターもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	82W	あり	あり
STANDBY	無表示	0.9W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM : Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	82W
Active OFF	無表示	10W

## ■ DDC(プラグ&プレイ)

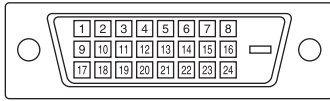
本機は、VESAのDDC (Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDCとは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピューターがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

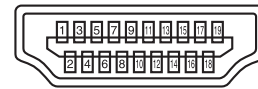
## 主な仕様

### ■ PC/AV DVI-D 入力端子のピン配列 (DVI-D 24ピン)



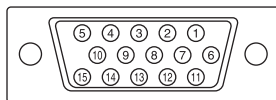
番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2-	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0-
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1-	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック-

### ■ PC/AV HDMI 入力端子のピン配列 (HDMI™ Connector)



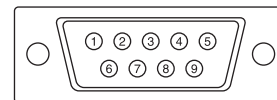
番号	機能	番号	機能
1	TMDSデータ2+	11	TMDSクロックシールド
2	TMDSデータ2シールド	12	TMDSクロック-
3	TMDSデータ2-	13	CEC
4	TMDSデータ1+	14	N.C.
5	TMDSデータ1シールド	15	SCL
6	TMDSデータ1-	16	SDA
7	TMDSデータ0+	17	DDC/CEC GND
8	TMDSデータ0シールド	18	+5V
9	TMDSデータ0-	19	ホットプラグ検知
10	TMDSクロック+		

### ■ PC D-sub 入力端子ピン配列 (ミニ D-sub 15ピン)



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

### ■ RS-232C 入力端子のピン配列 (D-sub 9ピン)



番号	機能	番号	機能
1	N.C.	6	N.C.
2	送信データ	7	N.C.
3	受信データ	8	N.C.
4	N.C.	9	N.C.
5	GND		

# シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
ビジネスソリューション事業推進本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2011.5)

PN-T321 M JA11E(3)